



2026 年 10 月 23 日

各 位

会 社 名 東 海 染 工 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 八代 健太郎
 コード番号 3577 東証スタンダード市場
 名証プレミアム市場
 問合せ先 管理部長 小野田 彬成
 (TEL 052-856-8141)

投資有価証券売却に伴う特別利益の計上見込み及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 23 日開催の取締役会において、保有する投資有価証券の一部を売却することを決議いたしましたので、お知らせいたします。併せて、2026 年 7 月 24 日に公表いたしました 2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の業績予想を修正いたします。

記

1. 特別利益の計上について

（1）投資有価証券売却の理由

2025 年 12 月 19 日に開示いたしました「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関するお知らせ」の 3. 具体的な取り組み（2）資本戦略に記載のとおり、政策保有株式の縮減を進め、資産の効率的運用を図るため。

（2）投資有価証券売却益の内容

- ① 売却する投資有価証券：当社保有の上場有価証券 2 銘柄
- ② 売却期間：2026 年 11 月から 2027 年 4 月末まで（予定）
- ③ 投資有価証券売却益：約 360 百万円（見込み）

投資有価証券売却益は、現在の当該有価証券の株価から算出した見込額であり、今後の株価推移等による不確実性を含んでおります。

（3）今後の見通し

上記の投資有価証券売却益の一部を 2027 年 3 月期において、特別利益に計上致します。

なお、本件が 2027 年 3 月期の業績に与える影響については、現在精査中であり、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 連結業績予想の修正

（1）2027 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前 回 予 想（A）	百万円 6,900	百万円 70	百万円 180	百万円 50	円 銭 15.84
今 回 予 想（B）	6,600	△80	60	△20	△6.33
増 減 額（B－A）	△300	△150	△120	△70	
増 減 率（%）	△4.3	－	△66.7	－	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （2026年3月期第 2 四半期）	6,633	62	91	27	8.80

(2) 2027年3月期通期連結業績予想数値(2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	14,500	450	650	250	79.20
今回予想(B)	14,000	150	350	100	31.68
増減額(B-A)	△500	△300	△300	△150	
増減率(%)	△3.4	△66.7	△46.2	△60.0	
(ご参考)前期実績 (2026年3月期)	13,783	163	310	202	64.01

(3) 修正の理由

2027年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想数値につきまして、売上高では国内染色加工事業で民需・官需ともにユニフォーム分野で受注を減らしたことで減収となりました。また、海外では、中東情勢の影響を受け苛性ソーダを始めとした薬品の価格が高止まりしたことや石炭、ガスの高騰により原単位が上昇したことで減益となり前回予想を下回る見込みであります。

2027年3月期通期の連結業績予想数値につきましては、中間期の業績を踏まえたうえで、下期において引き続き日本円・インドネシアルピア通貨安が見込まれることによる物価高、原材料高の影響から売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益を下方修正致します。なお、「1.特別利益の計上について」に係る投資有価証券売却益は本業績予想数値に含まれておりません。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、今後、様々な変動要因により、実際の業績が上記数値と異なる可能性があります。

以 上